



松戸市立総合医療センター

医療連携 News

第200号 (2024.1)



編集・発行 松戸市立総合医療センター 地域連携室

〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀993-1 電話 047-712-2511 (代)

医療機関各位 <https://www.city.matsudo.chiba.jp/hospital/>

松戸市立総合医療センター
病院長 尾形 章

新春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より、当院に対して一方ならぬご支援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

医療機関の皆様方へ毎月お送りしております「医療連携 News」を是非ご高覧いただき、
また患者さんへ必要な情報を提供いただけましたら幸甚に存じます。



小児専門外来 循環器外来のご案内

今月号では、小児専門外来の循環器外来をご紹介します。



写真左 鈴木一広副部長 写真右 堀本佳彦医長

【受診方法】

ご紹介の際には、当院の地域連携室にご連絡いただければ小児専門外来の循環器外来および専門医が診察可能な一般外来の予約をご案内致します。

お急ぎの場合は、**医療機関専用ダイヤル (047-712-2585)**より小児科責任医または小児科当直医にご相談いただければ迅速に対応致します。心雑音や不整脈、チアノーゼを認められた際や胸痛・動悸・失神のご相談など、お気軽に連絡をしていただければと存じます。

【紹介】

当科小児専門外来の循環器外来では、胎児期や出生時から心臓の形態や機能に異常を認める先天性心疾患、健診で指摘された不整脈、心筋疾患、弁膜症、肺高血圧、慢性心不全、乳幼児に発症する川崎病の心合併症などの診断および生活指導を含めた内科的な治療を提供しています。

また、先天性心疾患に対して適切な検査を施行し、最適な時期に手術を受けられるように小児心臓血管外科、小児集中治療科、麻酔科、新生児科、産婦人科と連携したチーム医療を行っています。

【診療内容】

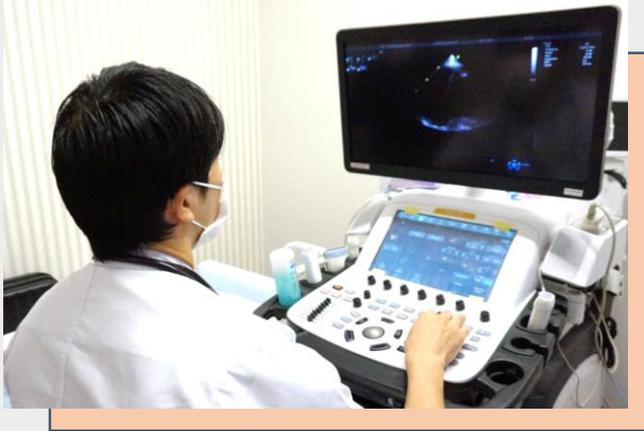
日本小児循環器学会の専門医修練施設として2名の小児循環器専門医が常勤しており、近隣の産院および院内産婦人科の胎児エコーで認められた先天性心疾患の相談や新生児期から乳幼児、学童に至る小児心疾患の診察、検査、治療を行っています。

心臓超音波検査、運動負荷心電図やホルター心電図、カテーテル検査や治療、周術期管理や術後の経過観察を他科や他院と連携を取りながら行っており、成人期への移行についても当院循環器内科や他院の成人先天性心疾患外来へと繋いでいます。

【先天性心疾患】

心血管系の発生過程において構造異常が生じた状態で、発生頻度は全出生児の約1%とされています。疾患ごとに症状や発症時期が異なり、出生前に判明するものから学校心臓検診で判明するもの、成人後に判明するものまで様々です。大部分は成因不明で、遺伝因子と環境因子(母体の先天性心疾患や糖尿病、妊娠中の風疹感染、膠原病、薬剤、飲酒、喫煙)の相互作用により発症する多因子遺伝によると考えられています。先天性心疾患の主な症状として、チアノーゼや心不全症状があり、心雑音やチアノーゼ、心電図異常などにより診断に至ることが多く、水分管理や薬物療法から外科的治療の時期・方法を検討する必要があります。

当院では診断から周術期管理、術後の長期的な経過観察まで小児心臓血管外科とともに麻酔科や新生児科と密接な連携を取りながら治療を行っています。



【不整脈】

小児の不整脈は学校心臓検診で発見される無自覚・無症状なものが多いですが、動悸発作や失神、突然死に至ることもあるため注意が必要です。先天性心疾患に伴うものや、その術後に合併する不整脈もあり、心筋炎や心筋症では心室細動などの致死的な不整脈を伴いやすいとされています。遺伝性不整脈や心筋症など家族内発生する疾患もあるため、問診で失神や突然死の家族歴を聴取することが重要です。

当科では診断から不整脈発作や発症予防の薬物治療を行っており、疾患に応じては植込み型除細動器、心臓同期療法、人工ペースメーカー、カテーテルアブレーション、外科的治療を他院へ依頼しています。



【川崎病後冠動脈瘤】

川崎病は主に乳幼児にみられる原因不明の急性熱性疾患で全身性の汎血管炎を認めます。突然の発熱で発症し、数日のうちに頸部リンパ節腫脹、眼球結膜充血、口唇・口腔所見、発疹、硬性浮腫などを呈し、心合併症として冠動脈瘤、瘤内の血栓形成による心筋梗塞、心筋炎、狭心症などをきたすことがあります。主要症状が少ない不全型川崎病でも冠動脈病変をきたすため、急性期の心エコーや心電図および待機的に冠動脈造影などの検査が必要です。

当科では年間約100例の入院加療を行っており、ガイドラインに沿った診断および急性期治療を行い、冠動脈病変合併例には動脈内血栓予防に長期的な抗血栓療法や抗凝固療法、定期的なカテーテル検査を行っています。高度な冠動脈疾患例はカテーテル治療やバイパス手術目的に専門施設へご紹介致します。



【心筋炎】

急性の経過と心筋壊死と炎症性物質による心筋細胞機能障害をきたし、心肺停止や心ポンプ機能の失調を呈します。

小児ではウイルス感染によるものが多く、活気不良や顔色不良、哺乳不良、嘔吐・下痢など症状は非特異的です。急速に心不全や心肺停止に移行する緊急を要する症例も多く、当科では365日24時間体制での救急対応、小児集中治療室での精査加療を行っておりますのでお気軽にご紹介ください。



【心筋症】

心機能障害を伴う心筋の変性疾患で、拡張型心筋症、肥大型心筋症、拘束型心筋症、心筋緻密化障害などがあります。

心筋症は健診での心雑音や心電図異常、易疲労感・動悸・心不全症状などを契機に診断に至ることが多いため、当科にご紹介された際には胸部Xp・心電図・心エコー検査を全例に施行しており、疾患および進行度に応じて外来や入院での治療や専門施設へのご紹介を検討します。



2022年度 小児科循環器実績

小児循環器外来紹介	223名
小児循環器疾患入院	152名
心臓超音波検査	4215件
運動負荷心電図	78件
24時間ホルター心電図	146件
心臓カテーテル検査	58件
小児心臓外科手術	34件

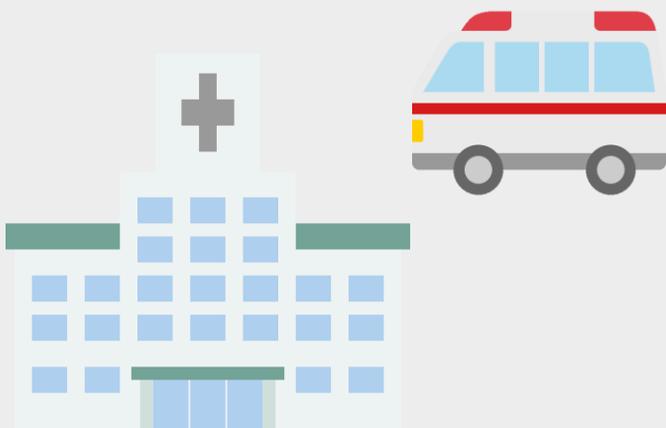
小児心臓血管外科手術風景



【肺高血圧症】

小児期発症の肺高血圧は特発性や遺伝性、先天性心疾患によるものが多く、また新生児期の低酸素血症などが原因となって発症する新生児遷延性肺高血圧症があります。日常生活では疾患に気づかれにくく発見が遅れることがあり、学校心電図検診での心電図異常を契機に発見されることがあります。

以前は極めて予後不良でしたが肺血管拡張薬の初期併用療法などにより長期生存例が増えています。当科では心臓カテーテル検査を含めた診断および在宅酸素や肺血管拡張薬にて加療を行っており、重症例は専門施設へご紹介しています。



受託検査のご案内

当院では、他の医療機関から下記の検査をお受けしています。

- CT検査 ●MRI検査 ●骨密度測定検査
- 上部消化管内視鏡検査 ●腹部超音波検査

地域連携室予約担当 TEL 047-712-0685 FAX 047-712-2573
(受付時間 月～金(祝日、年末年始を除く) 8:30～17:00)

●RI検査(核医学検査)

核医学検査受付 TEL 047-712-2511

(代表番号より内線1123をご指示ください)

FAX 047-712-2573

(受付時間 月～金(祝日、年末年始を除く) 8:30～16:00)

※番号をご確認のうえ、お間違えのないようお願いいたします。

**※初めて受託検査をご利用の医療機関は、事前に下記まで
お問合わせください。**

連絡先：松戸市立総合医療センター 地域連携室 電話 047-712-0551 (直通)
受付時間：月曜～金曜(祝日・年末年始を除く) 8:30～17:00

【患者さんのご紹介と予約について】

患者さんをご紹介いただく際は、医療機関からFAXによる診療予約申込み又は紹介状をお持ちの患者さんから電話による診療予約申込みをしていただきますようお願いいたします。

地域連携室(紹介予約担当)

TEL 047-712-0685 FAX 047-712-2573

(受付時間 平日 8:30～17:00)

* 紹介患者FAX予約診療申込書は、当院ホームページからダウンロードできるほか、地域連携室までご連絡いただければ郵送いたします。

感染症等の流行により、診察までの待ち時間が長くなっております。
患者さんをご紹介いただく場合は、緊急時を除きできる限り、予約をお取りいただきますようご協力お願いいたします。

臨時休診等お知らせ (2023年12月18日現在)

1月 医師の休診			2月 医師の休診		
整形外科	小島医師	15日(月)	小児脳神経外科	佐々木医師	13日(火)
			整形外科	小島医師	26日(月)、27日(火)